



UNESCO HAMAMATSU

ユネスコ会員綱領

- 心の中に平和の守りを固めよう
- 教育・科学・文化の発展に努めよう
- すべての人間の尊厳を重んじよう
- 民族間の疑惑と不信をのぞこう
- 世界を友愛と信頼のきずなで結ぼう

No.177

2021.3.1

発行：浜松ユネスコ協会
 発行人：会長 小島暹壯
 TEL(053)463-0458
 FAX(053)463-0458
 編集(広報委員会)阿部行俊

コロナ禍の中 平和を考える 第11回 「私のまちのたからもの展」 子どもに生きる権利と未来を



浜松市長賞

「風車の見える風景」(南区西町)

浜松市立東陽中学校3年 山下瑞貴さん

私たちの東陽中学校は、天竜川の河口に近い場所にあります。天竜川河口の対岸にある風力発電の風車が学校からよく見えます。巨大な風車は、海からの爽やかな風を感じる雄大な景観になっていて、この地域特有の強風「遠州のからっ風」を利用して発電が行われています。現在、日本では

脱炭素社会の実現に向けて、風力発電を将来の主力発電の一つとして位置づけています。

風力発電は、二酸化炭素などを出さないため環境にやさしいです。地球環境にやさしく安全でクリーンなエネルギーであることが風力発電の最大の長所です。しかし、風が吹かないときや風が弱いとき、発電ができないという短所があります。風車を見ながら、自然の力を利用したエネルギーの利用や地球環境について考えたいと思い、この作品を描きました。〈要旨抜粋〉

～ 人類の危機・・・それはウイルスと核兵器 ～

浜松ユネスコ協会会長 小島暹壯 氏

コロナ禍で世界中が混乱する中、日本も緊急事態宣言が出され生活するのも困難な状況が続いている。そんな中、ユネスコ活動も全て停止せざるを得なかったが、唯一この事業だけはコロナ禍ゆえに、あえて実施したのである。それは、新型コロナウイルスはコウモリやセンザンコウの動物を感染源としており、世界の環境破壊が人類生存の危険領域まで進んでいることを実感させられたからである。生態系の破壊は人類の危機である。

かつて人間と動物は別々の棲息地を持ち、共存していた。中国の武漢では、コウモリやセンザンコウの肉を食すると聞く。風水害による農作物の不作、中国の農村部は5億人の農民が貧困に苦しむと伝えられている。新型コロナの発生は地球温暖化だけでなく、貧困や国の政治と深く繋がっているのである。

さて、子供たちが残したい未来とはどんなものであったでしょうか。920点にも及ぶ作品には美しい自然があり、豊かな文化があり、街並みや歴史がありました。何より印象深いのは、子ども達もコロナで、人間の危機を感じていることであった。今こそ世界の人々が、地球温暖化の危機に向かって真剣に立ち上がらなければ、子供たちの未来は来ないかもしれない。



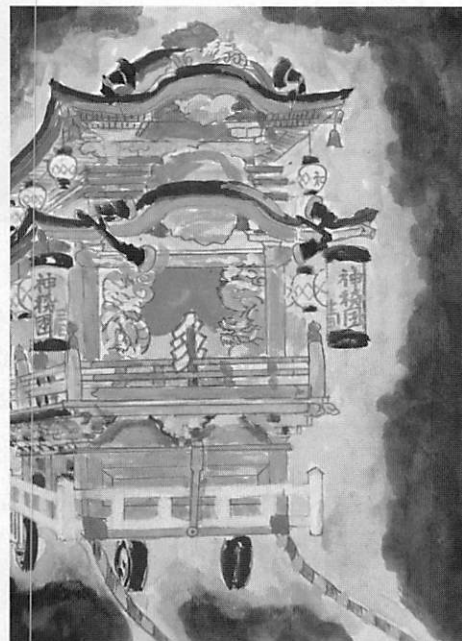
浜松市長賞

「ぼくのまちの屋台 神勢團」(東区笠井町)

浜松市立笠井小学校6年 加藤大翔さん

笠井の祭りは約140年続いています。この祭りに華をそえるのが、「ぼくのまちの屋台」です。この屋台に小さい頃から乗っていました。屋台に乗ると感じる木の香りやきしむ音、車輪の音。そして、おはやしの音が心地よくて、小さいころはよく眠くなった記憶があります。

そこに乗って演奏するぼく。そんなぼくも今年は6年生です。最上級としておはやしの大太鼓を担当するはずでしたが、コロナで中止になりました。屋台に乗りたかった思いをこの絵に込めました。この祭りや屋台をこれからも受け継ぎ、そして未来の笠井へつなげていきます。〈要旨抜粋〉



第11回 「私のまちのたからもの」展

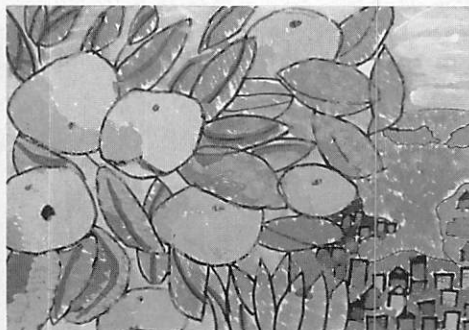
1月13日(水)～18日(月) 於：遠鉄百貨店 ギャラリーロゼ

本年度の表彰式は新型コロナ感染予防のため中止となりましたが、展示会は例年通りに開催しました。浜松市・湖西市内の小中学生から920作品の応募があり、209作品が入賞となりました。展示会への来場者数は1095名でした。



受賞作品

県教育長賞



左：「光り輝く祖父母の
電照菊のハウス」
浜松市立湖東中学校3年
鈴木梓美さん

右：「浜名湖とみかん畑」
浜松市立蒲小学校4年
小杉柚羽さん

浜松市教育長賞



左：「おいしい洋菓子屋さん」
浜松市立北浜中学校 2年
大場光叶さん

右：「浜松から世界へ」
浜松市立白脇小学校 4年
澤柳水希さん

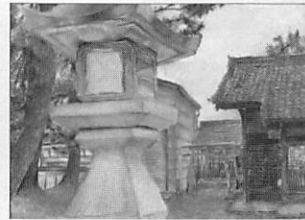
学校賞

浜松市立蒲小学校

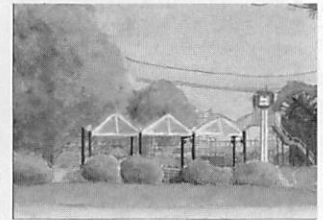


がんばった子供たちへ下鶴校長から
学校賞を授与していただきました。

浜松市立丸塚中学校



「聞こえる笛の音」 井指 楓



「思い出の場所」 袴田湖子



「小学生を見守る芳川」 尾林ももこ



「輝く海」 高田文慧



「天竜川の上流」 尾藤沙和

★受賞作品は浜松ユネスコ協会HPで御覧いただけます。

<https://www.unesco.or.jp/hamamatsu/takara/takara.html>

特別賞の作品

賞	学校名	学年	氏名	題名
浜松市長賞	浜松市立東陽中学校	3	山下 瑞貴	風車の見える風景
浜松市長賞	浜松市立笠井小学校	6	加藤 大翔	ぼくのまちの屋台「神勢團」
県教育長賞	浜松市立湖東中学校	1	鈴木 梓美	光り輝く祖父母の電照菊のハウス
県教育長賞	浜松市立蒲小学校	4	小杉 柚羽	浜名湖とみかん畑
浜松市教育長賞	浜松市立北浜中学校	2	大場 光叶	おいしい洋菓子屋さん
浜松市教育長賞	浜松市立白脇小学校	4	澤柳 水希	浜松から世界へ
文化振興賞	浜松市立丸塚中学校	2	井指 楓	聞こえてくる笛の音
文化振興賞	浜松市立蒲小学校	5	柳瀬 百那	蒲神明宮のお神楽
商工会議所会頭賞	浜松市立可美中学校	2	鈴木 はな	たご公園
商工会議所会頭賞	浜松市立笠井小学校	4	間 悠輔	旧笠井郵便局 1933年から時をこえて
浜松ユネスコ協会会長賞	浜松市立南部中学校	1	澤柳 帆花	たくましく生きる
浜松ユネスコ協会会長賞	浜松市立広沢小学校	6	佐藤 七帆	私の町の歴史、私の町の未来

賞	学校名	学年	氏名	題名
静岡新聞社・静岡放送賞	浜松市立丸塚中学校	3	袴田 湖子	思い出の場所
静岡新聞社・静岡放送賞	浜松市立萩丘小学校	6	大場 麻由	凧 凧 揚がれ、天までとどけ！
中日新聞東海本社賞	浜松市立都田中学校	3	油井杏依子	自然・光と風の美しい町
中日新聞東海本社賞	浜松市立二俣小学校	6	鈴木 泉	天竜川のあゆ



日本ユネスコ国内委員会 浜松ユネスコ協会「科学教室」を紹介

3月3日開催の日本ユネスコ国内委員会科学小委員会において、科学分野での民間ユネスコ運動の一つとして浜ユ協の「科学教室」が取り上げられる予定です。日本ユネスコ国内委員の鈴木郁香様より原稿・スライド等の校正依頼がありました。

この活動は、1958年に中学生を対象にしてスタートしました。その後、1987年に対象を小学5、6年生に変えて、現在まで34年間（32回開催）、年に9回の活動を続けています。これまでの修了生（小学生）は3,896名を数えます。

「身近な自然に感動する体験がなければ、素直な心や謙虚さ、そして地球的な視野は育たない」との思いから「本物との出会い」を大切に、ユネスコ精神をふまえた「科学する心」を育てることを目的として、様々な活動を展開しています。

浜松ユネスコ協会「ユネスコ科学教室」

1958年～ 中学生対象
1987年～ 小学5、6年生対象

年 9回活動

「本物との出会い」を通して
「科学する心」を育てる

内容(一節)

「昆虫と植物」	チョウと植物、チョウの不思議
「水と生命」	微生物とホタル
「富士山の自然」	新五合目から宝永火口を歩こう
「郷土の自然史」	天竜川と岩石・岩石標本を作ろう
「秋の自然観察」	木の実探査
「宇宙への挑戦」	神秘的な星の世界をのぞこう
「電波の不思議」	ラジオを作ろう

各委員会より ～2021年度へ向けて～

- 学校委員会**… 例年実施してきた「富士山の自然」は「化学の世界」へ変更。「宇宙の挑戦」は会場をかわな野外活動センターから浜松市天文台へ変更。定員を縮小して実施予定
- 自然環境委員会**…………… コロナ感染予防を考慮し、安全対策が可能な参加人数で実施予定
- 地域・世界未来遺産委員会**… 表彰式を含め「私のまちのたからもの展」開催予定
- その他の委員会**…………… コロナウイルス感染状況に応じて事業開催予定

あなたも一緒に

会員募集

問い合わせ・申し込み
事務局 三輪 宜弘
■ 053-425-8643

会員動向 会員数 (2021.2.11現在)

賛助	法人	維持	理事
26	1	5	41
普通	学生	合	計
42	0	115	